

## 第4 平成32年度の成果目標

障がいのある人の自立を支援する観点から、「地域生活移行」、「就労支援」といった課題に対応するために、平成32年度の成果目標を設定します。

この成果目標の設定については、国の基本指針で示された目標値を参考としつつ、本市の現状と実績に応じて目標値の設定をします。

### 【地域生活とは】

障がいのある人が、障がいの程度や種別、年齢などに関わらず、希望する地域の中で自分の意思に基づき、自らの生き方を決めて、地域の方々とともに支えあいながら暮らすこととし、地域生活への移行が見込まれる利用者の数を目標値とします。

### 【地域生活支援拠点とは】

障がいのある人が重度化、高齢化した場合や、生活を支えていた親等が亡くなった場合でも地域生活が継続できるよう、居住支援と相談などを行う社会全体で支えるシステムとし、これら地域生活支援拠点の整備数を目標値とします。

### 【一般就労とは】

本計画においては、在宅就労を含む雇用契約を結んだ新規就労すること（就労継続支援A型事業利用者は除く）及び自ら起業することとし、その就労した者の数を目標値とします。

## 1 施設入所者の地域生活への移行

	平成28年度の 施設入所者数	目標割合	目標者数
地域生活移行	53人	(9%) 3%	(5人) 2人
減少見込 (長期入院、介護保険 施設への入所等)	53人	(2%) 1%	(1人) 1人

※ 目標割合上段の（）内の数値は国の指針で示された割合で算定

## 2 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

	平成32年度末 の目標	備 考
圏域での協議の場 の設置	1カ所	中空知圏域で設置の検討をします
本市での協議の場 の設置	1カ所	近隣市の広域で共同設置を視野に入れて検討します。
1年以上長期入院 患者数減少割合	—	入院者数を把握できないため 本市の目標は設定しません。
精神病床における 早期退院率		
入院後3か月	退院率69%以上	国で示された基本目標を設定 します。
入院後6か月	退院率84%以上	
入院後1年	退院率90%以上	

## 3 地域生活支援拠点等の整備

	平成32年度末 の目標	備 考
圏域での地域生活 支援拠点の設置	1カ所	中空知圏域で設置の検討を します。

### ※ 圏域での設置目標について

専門知識を有する者等関係職員の確保が困難なことなどにより、市単独での設置が困難な協議の場及び拠点の設置については、北海道、空知総合振興局及び近隣市と情報連携しながら、中空知圏域での設置について検討します。

#### 4 福祉施設から一般就労への移行

	平成32年度末 の目標	備 考
一般就労への移行	3人	平成28年度実績の1.5倍以上を基本とします。
就労移行支援事業 利用者の増	8人	平成28年度末利用者の2割以上増加を基本とします。
就労移行率が3割以上 の事業所の割合	事業所全体 の5割以上	国の指針に合わせた目標設定とします。
就労定着支援による 支援開始1年後の 職場定着率	8割以上	国の指針に合わせた目標設定とします。

#### 5 障がい児支援の提供体制の整備等

	平成32年度末 の目標	備 考
児童発達支援セン ターの設置	1カ所	圏域、広域又は単独での設置 について検討します。
保育所等訪問支援 利用体制の構築	1カ所	
重症心身障がい児 を支援する児童発 達支援事業所及び 放課後等デイサー ビス事業所の設置	1カ所	圏域又は単独での設置につ いて検討します。
医療的ケア児が支 援を受けるための 協議の場の設置	1カ所	平成30年度までに道と圏域 での設置又は単独での設置 について検討します。